

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2000.5.15 NO.105 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5666
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



21世紀の元気 平早勉の世界

白昼の暑さが和らぐころになると、小さな子どもたちも家の外で遊びはじめる。小学校から帰宅した10歳のお姉さんといっしょに、動かなくなったジープで“ドライブ”ごっこ。働くのにいそがしい両親のかわりに、幼い弟や妹のめんどうをみるのがお姉さんの日課だ。
ここラオスの首都、ビエンチャンには大河メコンが流れ、遊ぶ子どもたちの視界にも対岸のタイの民家が目に入る。ジープで向こう岸まで行けたらいいのにね。

【こどもの城】では、さまざまな専門分野のスタッフが活動しています。スポーツ遊びや造形遊び、音楽遊び、映像遊び、仲間作りのための遊びなど、“遊びのプログラム”を考えて、みんなに楽しんでもらうほかに、子育ての手助けをしたり、心や体の健康のことを考える部門もあります。

今月は、1・2歳の親子を対象とした「よちよちクラブ」を中心に、子育ての手助けをする保育研究開発部門の活動を紹介します。

保育の「よちよちクラブ」(1・2歳の親子対象)

子育ての楽しさもりたて

子ども“のびのび”、親“リラックス”

「よちよちクラブ」は、「土曜企画」の1つとして平成10年にスタートしました。「土曜企画」は、子育てをお手伝いするプログラムで、1・2歳の親子と3～5歳の親子をそれぞれを対象として、いろいろな“親子遊び”を行ってきました。今年は1・2歳の親子をおもな対象として、「よちよちクラブ」という名前に統一して、毎月1・2回、開催する予定です。

「よちよちクラブ」は子どもだけでなく、親もリラックスして楽しく子育てをしてほしいと願い、親子でゆったりとした時間を過ごしてもらえようという考えで作られました。小さい子どもと親がいっしょに、気軽に参加して、家庭とは異なる環境のなかで、子どもたちはのびのび遊び、親には子育てを楽しんでもらおうというものです。



用意してあるおもちゃも、子どもたちが豊かな遊びができるように、スタッフが選んだものです。



お母さん、お父さんのひざの上に座って、みんなで紙芝居を楽しみます。



“感覚”を使って体で体験

“保育”の経験をいかして、子どもの年齢や発達を考えたプログラムを行っています。例えば、小麦粉ねんどで遊ぶプログラム。油ねんどと違った手ざわりやにおい、ねんどをいじっているうちに、その形からいろいろなものへと想像を広げていったり——子どもたちが、いろいろな感覚を使って体で体験できるようにしています。

いろいろな野菜を輪切りにして“スタンピング”。さまざまな形の野菜スタンプを組み合わせて遊びます。

1つ1つをていねいに体験させる

絵本やパネルシアターなどでも、いっしょに楽しむだけでなく、どういふものに興味や関心をもっているのかを、子どもが遊んでいるすがたの中から見つけ出して、子育てに役立ててもらおうようにしたり、楽しい子育ての手助けをここからかけています。

子どもにとっては“初めて”のことが多いので、その出会いを大切にしたいと思っています。一度には覚えきれないから、1つ1つをていねいに、じっくり、ゆっくりと子どもに体験させます。また、お父さん、お母さんもいっしょに参加することで、ほかの親子とのふれあいや交流にもつながっています。



お母さん同士も、おしゃべりでリラックス。よその子どもや親子の様子を見ていることが、子育てのヒントにもなります。

今年最初の「よちよちクラブ」は5月20日に開催されます。プログラム内容や今後の日程、参加方法などについては、保育研究開発部【☎03-3797-5669】へお問い合わせください。

保育事業

2年保育の「幼児グループ」(4・5歳児)、急な用事や毎日ではないけれど仕事をしているので保育をしてほしい、集団のなかで子どもを遊ばせたいなどさまざまな要望に対応する会員制の「保育クラブ」(2～5歳児)、家族ぐるみで子育てを考える「親子教室」(1歳児親子)——を行っています。

一般利用

保育事業の経験をいかして、夏休みなどに【こどもの城】に遊びに来た親子を対象に、子育ての楽しさもりたてる“親子遊び”のプログラム(「つくって遊ぼう親子工房」など)を行っています。平成10年からは、土曜日(毎月1・2回)に「よちよちクラブ」(1・2歳の親子対象)なども開催しています。

【こどもの城】の保育研究開発部の活動

保育研究開発部門の活動は、保育事業、保育関係者を対象とした研修事業、【こどもの城】に遊びに来た親子を対象とする活動(一般利用)、の3つに大きく分けられます。どの活動も「子育てのたいへんさを手助けする」「子育ての楽しさもりたてる」ことが、基本になっています。

研修事業

乳幼児にかかわる仕事に携わる人々を対象に、研修会やセミナーなどを企画・開催したり、最新の情報を伝える「子育て支援のニュースレター」を発行したりしています。

「保育セミナー」は、保育所、児童館、行政の児童福祉担当者などを対象に開かれます。

スキマン Vol.2
スキマンのルーツの巻

スキマンは、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキマンは、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキマンは、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキマンは、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキマンは、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

プレゼント!! 子どもたちに喜ばれる料理法100種類を詳しく紹介したレシピ集「スキムミルククッキング」(カラーB5版、100ページ)を差し上げます。ご希望の方は、児童給食事業部(TEL03-3591-3245)までお問い合わせください。

